

まちづくり地区懇談会（北小河内区）会議録

地区名：北小河内区

日時：平成28年11月12日（土）19：00～20：50

会場：北小河内公民館

町参加者：町長・副町長・唐澤(勝)課長・中村課長・今井担当課長・平澤係員
小川係員・三井

参加人数：42人（男性38人：女性4人）※町・主催者、報道機関を除く

報道機関：－

主な発言：※要約・箇条書きにて記録

参加者

- ＜荒廃農地の増加を防ぐための提案とお願い＞・・・文書あり
- ・次善の策として地元の北小河内営農組合の維持・強化を提案したい。

町長

- ・町全体では有休荒廃農地は他の市町村に比べると少ない。理由は、
 - 1 みのわ営農組合で委託を受けるしくみができている
 - 2 畜産農家の飼料作物のサイクルができている
 - 3 西武地区を中心にわかば農園の作物づくり

しかし、東側の地区はそうではない部分がある。担い手がないのであれば誰かにやっ
てもらふことになる。そのためには、規模の拡大が必要。

また、定年帰農の人を中心に地区の営農組合の力が発揮できるよう町として支援をして
いく方法もある。

農地の保全、土と親しむ形で土地を守る、それによって田園地帯が守られていく、その
両方をやっていかなければ。良い案があったらまた教えていただきたい。

参加者

- ① 未来会議の委員である有識者の方々は実態がみえていない部分があるのでは。テーマあ
るいは地区を含めて小さい未来会議など住民が参画する場が必要ではないか。また、未
来会議は計画を立てた後も継続的にテーマの共有が必要ではないか。
- ② 検討したことを情報共有できるようホームページなどで誰でも見れるシステムを検討
してほしい。

町長

- ① 町では第5次振興計画策定にあたり、20代から70代まで、18人からなる未来委員会を
つくった。6章それぞれの下部組織もつくり、あわせて60名程の委員構成であった。
計画策定後も未来委員会は残っており、事業進捗の外部評価、その時々課題に応じて
諮問をしていく予定。
- ② 問題は、個別の事業をするにあたり、町民の皆さんの意見を吸い上げるしくみができ
ていない部分もあること。必要なことであり、しくみを検討し、できるだけオープンにし

ていく。

参加者

- ① 地域ケアとしてすこやか塾という小さな集まりを立ち上げた。拠点は集会所である。町の補助の規程では公民館の新築 1/2 まで負担、集会所は 1/3 まで負担するとある。常会だと人数も少なく個人の負担が大きい。なぜ町の負担の率が公民館と集会所で違うのか。
- ② ふれあいサロン、すこやか塾の立ち上げ時に自己負担がある。福祉課で小さな集団でと推進していることもあり補助金を考えてほしい。
- ③ サロンでほしい物品もあり、来年度は町の活性化交付金を使おうと思っている。団体枠は通りにくいから区の枠で出してほしいと言われた。どちらで出しても良いが疑問を感じる。
- ④ 漆戸の高齢者にみのちゃんバスが通らなくなったことを言ってほしいと頼まれた。

町長

- ① 公民館の建設については、全体で使うものであり、老朽化もしてきているところもあるので、昨年からは補助を 1/3 から 1/2 に上げた。200 ある常会で集会所を持っているところは 70 ある。税金の使い方としてどうしたらいいか。地域でやれることは地域でと思っているがハードなものを造るにあたっては今は補助を上げる状況にはないと思っている。
- ② サロン立ち上げに地域の皆さんが全部負担というのはどうかと思っている。どの範囲のものにするか、ハードかソフトかも考えなくてはと思っている。
- ③ 町民税の 1%を原資にしている。財源ををどういう使い方をするかということ。一般論としてはおっしゃる通りだが、どこに重きをおくか、それによりどこかを見直すことになるのでその点も考えてやりたい。
- ④ 2 台あるバスをどう動かすか。中学生用にするか、高齢者用にするか。今工夫を重ねて見直しを行っている。

区長

関連して、集会施設の畳替えの町の支援はある。机、椅子などの備品はない。お年寄りが正座をするのは難しく、机など補助制度があればよいが。

町長

備品については、集会のためか地域ケアのためか、何のためなのかははっきりしないと補助事業が成り立たない。来年の事業の中にどうやってとり込むのか考えたい。検討させてほしい。

区長

参考までに、北小河内にサロンは 2 ヲ所できた。机は持っていけないので、椅子をその都度公民館から運んでいる。

参加者

下は畳なので、絨毯を自分たちで買って用意した。

副町長

ソフト事業を組み合わせるとというのが町長の一つの考え。ハードのみは難しい。補助に合うしくみにしていきたい。

参加者

- ① みのちゃんバスの町の補助はどのくらいか。
- ② 広報みのわ 11月号にある第5次振興計画、6項目のうち協働のまちづくりについては、以前から言われているが、町全体としてどのような評価、考え方をしているか。
- ③ 平成27年度の決算報告の中で、公債費9.8%、実質は10.3%とあるが、県の比率との比較はどうか。また、長野県の市町村の中で町のこの数字は高いのか、低いのか、何番目位なのか。
- ④ 町債の現在高で下水道事業が111億6,800万円とあるがこの返済は何年かかるのか。(永久に借金を抱えるのか、111億がどこかで終わるのか)

町長

- ② 協働のまちづくりについてはそれほど進んでいるとは思っていない。条例を作ったが具体的にはなっていない感じである。北小河内のようにSC活動など熱心にやっているところもあれば行政の仕事という区もある。こういう点では、まだまだ足りないと思っている。
- ③ 実質公債費比率は今回だいぶ下がった。また、将来的な負担比率もかなり下がってきた。全県の中では、まだ1ケタの中にいるがそれほどおかしな数字だとは思っていない。
- ④ 箕輪町は下水道事業を一度に行ったのが大きい。平成31、32年くらいまで下水道の返済ピーク。それが過ぎればゆるやかになる。が返済はずっと続く。金額は下がってくるので心配はいらない。
町下水道の課題は農集。農業集落排水は6か所造ってある。中曾根と中原の処理場は再来年あたりから公共下水につないで維持管理費を少なくしていく計画を立てている。
東箕輪3区の農集をどうするかが課題。

参加者

下水道は返済に何年かかるのか。

町長

返済期間は30~40年。借り入れた時期によるがピークは31、32年頃。

企画振興課長

- ① みのちゃんバスの経費は、1,400~1,500万円位かかっている。

参加者

- ① 借金とは別に人口減少対策をしているが、天竜東は農集ということで処理能力がないために敬遠されると困る。公共下水はいいが農集はどうなるのか。
- ② 集会所の備品(椅子)は絶対必要になる。KSCのモデルの推進として事業を作ると他の地区にもSCがさらに広がるのではないか。こういった町が後押しするような事業、システムを作ってほしい。

町長

- ① 処理能力により人口が増える、増えないにはならないようにする。農集は統合していかないと維持管理の問題がある。土地利用をもう少し考えていきたい。
- ② S Cを進めるにあたって北小河内の皆さんの力もあって他の地区にも徐々に進んでいてありがたい。補助金などやりながら進めている。サロンについて今の提案も考えていきたい。

参加者

消防について、やっている人だけが苦勞するというしくみを何とかしたい。消防はよくない(大変)というイメージを持っている人もおり、団員確保が難しい。やりがいのある組織、やってよかったと思うものにしたい。

辰野町は補助でホームページを立ち上げて発信している。

町長

やり損では困るというのはその通り。区によっては、団員が2～3人のところもあり、昼間は勤めていないところもある。区全体でしくみを考えないといけない等、消防については困っている部分もある。団の皆さんのご意見をいただき、イメージアップについてはやっていけるところもあるので相談していただきたい。

参加者

愛知県の人に箕輪に道の駅があるかと聞かれ、飯島や松川を紹介した。箕輪に紹介できるものがない。

スポーツではグラウンドは多いが、大芝のように全体的に整備されているものがない。箕輪の活性化、もみじ湖の活性化など地域を盛り上げる方法を考えていただきたい。

町長

もみじ湖でイベントもしたが、周知すれば来てくれる。が、町のものを買ってもらう、食べてもらうに結びつかない。企業、製造業は頑張っている。農業、商工系がもう少し出てこないと難しい。

道の駅構想として、にこりこ、たべりこ、J A関係で何かできないか模索している。グラウンド、体育館などは今すぐ何かできるかというとな難しい。よい方法があれば教えてほしい。

参加者

- ① 初めて区に携わったが、覚えきれないほどの会がある。そこに区長の名があるが、負担がありすぎてなり手がいないのではないか。各区に町職員を常駐してもらい、区長の負担を減らしてもらいたい、
- ② 保護者の意見で先生の態度がコロッと変わる。先生は怖いものであってほしい。毅然とした先生であってほしい。先生に叱咤激励をお願いしたい。

町長

- ① 区長の仕事は、区の運営として区としてお願いしていることと、町から行政事務をお願いしていることがある。両面で区長の仕事が大変だということはあるので軽減していかなければならないと思う。区の中でも、全て参画の頭に区長がいなくてもいいような組織にしていけないとではないか。

職員の常駐については、大きな市では公民館と兼務してやっているところもある。がそれは箕輪町では難しい。今の支援スタッフというのではなく、もう少し関わりの深いスタッフのやり方をしている町村もある。町としては区の規模も違うので、区長の役割も違うのではないかと思う。ご意見としてはわかった。

- ② 学校のことは教育長に話しをしてもらいたいと思う。

逆の見方をすると、先生方は大変忙しくなっていて、先生だけでは解決できない問題もたくさんある。学校内部でやること、地区でやることという区分けをしないと。先生方はやりきれない程の仕事をしているということも事実である。教員一人ではなく皆でやらないとできないのではないかと思っている。

怖い先生、毅然とした先生でということとはよくわかるので教育長に伝える。

区長

区の話より

県道、竜東線の安全・安心については信号機設置が進んでいて感謝している。東小までの歩道についても部分的にできているが完全な対策にはなっていない。子どもの安全・安心のためにも県と一緒に町も力を入れてほしい。東西線信号の渋滞については町だけではできないところもあり、簡単にはできないと思っているので要望としてだけ挙げる。元気はつらつについては11月27日にケア会議を開き今抱えている問題をどうするかまとめていく予定である。

- ① 竹の腰について提案をしたい。

- ・国での地方創生の動きは町でもあるのではないかと思っている。役場を中心にいろいろの施設があって活性化されているが、地方に目を向けた時にどうなのか。地方を元気にするために何らかの対応をしていく必要があるのではないかと思う。北小河内は、竹の腰公園から魅力発信をして北小河内の魅力づくりをしたらと考えている。北小河内には町の公の施設はない。竹の腰公園を町の施設にしていきたい。歴史を中心とした博物館を造り、そこから魅力を発信し、北小河内の活性化を図ったらどうか。
- ・マレットゴルフ場の関係も出したが維持管理が大変になってくる。交付金をいただいて作った設備に対して維持・管理のために再交付を申請できるような制度にしたいとありがたい。

- ② 田舎暮らし体験住宅はもとは東部診療所の医師住宅であった。東診が休診になった時の説明で“先生がいなくなってしまうのでしばらくの間休診になるが、町としても努力をしてできるだけ早く東診が開設できるようにしていく”というお話しがあった。地域の皆さんに納得がいく対応がされていたか、今後どうなるのかも含めて説明をお願いしたい。

町長

- ① 公園の維持・管理については具体的にどういうことなのか相談させていただきたい。マレットゴルフ場についても今の制度の枠の中でできるのか今判断できないので時間をいただきたい。博物館等についてはご提案としていただく。それぞれの地域に必要なものはやっていきたいと思っている。

道路については東西線の信号機が問題。区だけの問題ではない。もう一つはゾーン 30も含めて中村の方に車が来てしまっている。これを何とかしなくては。来週、南小河内の中の調査をし、どうしたらいいのか考えていく。

- ② 東診の今後としては、国保として運営することは考えていないということは申し上げている。施設の使い方は町会議員や区長とお話ししたうえで示させていただきたい。沢、大出地区、長岡の下にも診療所ができたこともあり、あそこでやるという医師が現れるか難しいと思っている。どこかの段階で施設の有効活用を考えていきたいと思っているのでまたご相談させていただく。

以上